

第3期三豊市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に対するパブリックコメントの実施結果

1. 募集期間 令和7年2月19日（水）～令和7年3月20日（木）
2. 募集結果 提出者数1名、提出件数5件
3. 意見及び回答

	意見	市回答
1	<8ページ目 1－2. 数値目標「自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合（自己有用感）」について> 自己有用感の目標が65.0%なのは2022年度の結果からすると野心的な目標に感じるので良いと思います。目標達成のために実施する内容についても続報を掲載いただきたいです。	自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合（自己有用感）とは、毎年4月に文部科学省が全国一斉に小学生、中学生を対象として行う「全国学力・学習状況調査」の質問項目の1つです。 KPIの達成状況や目標達成のために実施した内容については、毎年夏ごろにホームページにおいて公表する予定です。
2	<9ページ目 1－4.（1）子育てについて> KPIの1つに小児科の件数を加えていただきたいです。三豊市民病院にて曜日ごとに色々な先生が来てくださっているのは理解しています。しかし、かかりつけ医のような安心感を持って子育てができるよう小児科病院を設置いただきたいです。	小児科医は全国的に不足している現状であり、市内にも小児科を専門とする医療機関はありません。このことから、本市では公立病院であるみとよ市民病院に外部から医師を招き、月曜日から金曜日までの午後、小児科を開設しているところです。みとよ市民病院での小児科診療を充実させるため、引き続き小児科医の確保に努めます。なお、救急対応としては、近隣の三豊総合病院が毎晩19時から23時まで、四国こどもとおとなの医療センターが毎日24時間体制で、小児救急医療を行っていますので、周知に努めてまいります。 また、KPIの1つに小児科の件数を加えていただきたいというご意見についてですが、現時点で小児科病院を設置する計画はないことから、KPIを設定することは適切でないと考えます。
3	<27ページ目 2, 3, 4の指標項目について> 指標が社会増減数となっています。ひとくちに社会増減数と言っても出生、死亡、転入、転出、と理由が色々あると思いますので細分化したほうが2028年度に考察しやすいように感じます。	人口の変動を説明する指標として自然増減数と社会増減数があり、自然増減数は出生数と死亡数の差、社会増減数は転入数と転出数の差を表しています。27ページは移住・定住施策に関するKPIのため、転出超過が続いている本市の状況を踏まえると、社会増減数を令和10年度に±0まで高める目標値を設定することが適当だと考えます。 また、出生数については、別途、8ページにおいて令和7年度から令和10年度まで4年間の累計として目標値1,084人を設定しています。
4	<全体について> アンケートを実施して、その解答項目の割合を目標値にしているものがいくつかあるように思います。アンケート回答率についても目標値に加えていただいたほうが良いと感じました。	数値目標は、戦略期間（本計画においては令和7年度～令和10年度の4年間）における各取組の結果を測る指標として設定し、総合戦略に掲載しました。 アンケート回答率は、取組そのものの結果を測る指標ではないため、総合戦略に掲載することは適当でないと考えますが、アンケート調査の結果が信頼できるものとなるよう、回答率を高める実施方法等を検討します。
5	<全体について> 現時点で基準値が無いものや22年度から28年度で20%以上高い目標が設定されているものがあるように思います。そういった内容は例えば26年度などに中間報告されるのでしょうか？中間の状況によって取り組みの修正が必要になる場合もあるのではないかと気になりました。	現時点で基準値を設定していないものもありますが、効果検証を通して新たに数値を設定できるものについては、検証結果等と併せて公表する予定です。 進行管理については、外部有識者で組織する「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会」において、目標値の達成状況や取組内容の進捗状況の把握を行い、その結果を踏まえて担当部署により取組内容の見直しを図ってまいります。また、推進委員会での検証結果等については、会議の要旨と共に毎年夏ごろホームページにおいて公表する予定です。